

基本情報

指標番号
2101

名称

悪性腫瘍（4種）手術症例における大量輸血の割合 2（食道がん・胃がん・大腸がん・直腸がん）

分母

4大癌・悪性腫瘍に対する手術症例（食道がん・胃がん・大腸がん・直腸がん）

分子

分母のうち、大量に輸血の実施された症例

指標群

マネジメント

意義

医療の質

年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020,2022

必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル,D ファイル

指標の定義算出方法

分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする
2. このうち、食道がん・胃がん・大腸がん・直腸がんに対する手術をされた症例。DPC コードが以下のいずれかの症例

D PC コード	内容	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
060010xx01\$	食道の悪性腫瘍 手術 K5291 等	○	○	○	○	○	○	
060010xx02\$	食道の悪性腫瘍 手術 K5291 等							○
060020xx01\$	胃の悪性腫瘍 手術 K6572 等	○	○	○	○	○	○	○
060020xx02\$	胃の悪性腫瘍 手術 K655-22 等		○	○	○	○	○	○
060035xx01\$	大腸の悪性腫瘍 手術 K7193 等	○	○					
060035xx02\$	大腸の悪性腫瘍 手術 K724 等	○	○					
060040xx01\$	直腸の悪性腫瘍 手術 K645 等	○	○					
060035xx01\$	結腸の悪性腫瘍 手術 K7193 等			○	○	○	○	○
060035xx02\$	結腸の悪性腫瘍 手術 K724 等			○	○	○	○	○
060040xx01\$	直腸肛門の悪性腫瘍 手術 K645 等			○	○	○	○	○
060040xx02\$	直腸肛門の悪性腫瘍 手術 K7481 等			○	○	○	○	○

3. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

分子の定義

1. 大量輸血の実施された症例。以下のいずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれ、その合計数量が3を超える症例。合計数量はEFファイルのEF-12 使用量×EF-21 行為回数、あるいはFファイルのF-12 使用量×対応するEファイルのE-15 行為回数を、入院期間で合計する（複数薬剤も合算する）

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
6342403	照射解凍人赤血球濃厚液	○	○	○	○	○	○	○
6342402	合成血						○	○
6342405	人赤血球濃厚液	○	○	○	○	○	○	○
6342407	白血球除去人赤血球浮遊液	○	○	○	○			○
6342408	洗浄人赤血球浮遊液	○	○	○	○	○	○	○
6342410	人赤血球濃厚液	○	○	○	○	○	○	○
6342413	解凍人赤血球濃厚液	○	○	○	○	○	○	○
6342414	合成血	○	○	○	○	○	○	○
6342415	洗浄人赤血球浮遊液	○	○	○				○
6342415	洗浄人赤血球液				○	○	○	

その他

薬剤一覧の出力

いいえ

リスク調整因子の条件

指標の算出方法

分子÷分母

指標の単位

パーセント

結果提示時の並び順

昇順

測定上の限界・解釈上の注意

1. 輸血薬剤は複数の数量規格（200ml、400ml）があるが、いずれも1袋と考え、袋数をもとに大量輸血を定義した。輸血には赤血球だけではなく血漿や血小板などが含まれるが、本指標では赤血球を含む製剤のみに注目し算出した。また、入院期間に渡り合計するため、長期間にわたる貧血への結果的な大量輸血が分子に含まれる可能性がある。
2. Dファイルのない場合の結果は参考値（QIPでは疑似的にDPCコードを生成し、そのコードを利用し指標値を算出している）

参考資料

参考値

参考資料